

TAKARA RANGEHOOD FAN

タカラレンジフードファン

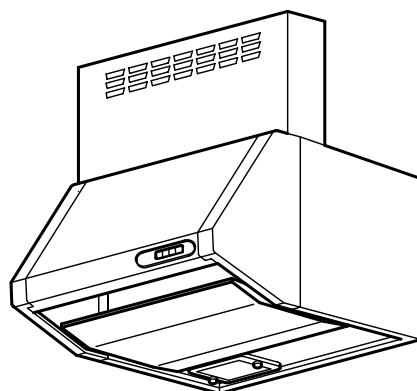
取扱説明書

型 式

保証書付

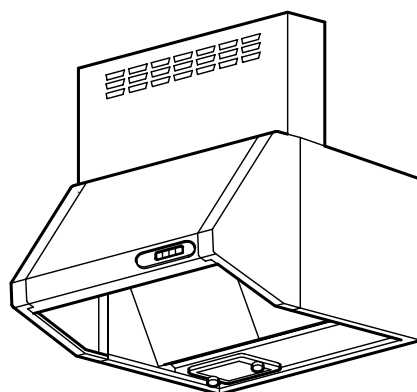
VUSシリーズ <ホーロー整流板付き>

VUS-605AD・755AD・905AD
VUS-605AJ・755AJ・905AJ
VUS-605・755・905
VUS-605BD・755BD・905BD
VUS-605J・755J・905J
VUS-605H・755H・905H
VUS-755T・905T
VUS-755JT・905JT
VUS-755BDT・905BDT



VUシリーズ

VU-753AU・903AU
VU-603・753・903
VU-603H・753H・903H



もくじ

1. 安全上のご注意	 1	5. 故障かな?と思ったら	 6
2. 各部の名称と仕様	 3	6. アフターサービス	 6
3. 使用方法	 3	7. 保証書	 7
4. お手入れのしかた	 4		

このたびはタカラレンジフードファンをお買い求めいただき、まことにありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は
いつでもご覧になれるところに大切に保管してください。

タカラ スタンダード株式会社

1. 安全上のご注意（1）

必ずお守りください

- ご使用前に安全上のご注意をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 表示と絵文字の意味は次のようになっています。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容。	 	行為の指示（必ずすること） 必ず実行してください。
 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容。	 	禁止行為（してはいけないこと） 絶対にしないでください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に大切に保管してください。

警 告



分解禁止

- 改造はしないでください。修理技術者以外の方は分解したり修理をしないでください。
火災、感電、けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。



禁止

- 電源は交流100V以外では使用しないでください。
交流100V以外の電源を使うと、火災・感電のおそれがあります。



水ぬれ禁止

- 水につけたり、水をかけないでください。（モータ、スイッチなどの電気部品）
ショート、感電のおそれがあります。

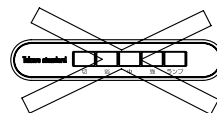


- 異常・故障時には、直ちに使用を中止する。
 ＜異常・故障例＞
 - ・スイッチを入れても動かない。
 - ・電源コードや配線に深いキズがある。
 - ・配線を動かすと、通電したりしなかったりする。
 - ・焦げくさい臭いがする。
 - ・ビリビリと電気を感じる。
 - ・その他、異常を感じる。
- そのまま使用すると、発煙・発火、感電、けがをするおそれがあります。
※すぐに電源プラグを抜いて販売店へ点検、修理を依頼する。



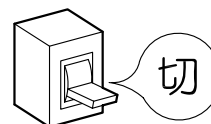
禁止

- ガス漏れのときは、スイッチを入り切りしないでください。
爆発・引火のおそれがあります。

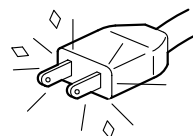


電源プラグを抜く

- お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤のブレーカを切ってから行なってください。また、ぬれた手で抜き差し、入り切りしないでください。
感電やけがをすることがあります。

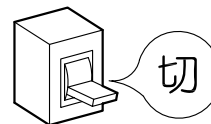


- 電源プラグの刃及び刃の取付面にほこりが付着している場合はよくふいてください。
火災の原因になります。



電源プラグを抜く

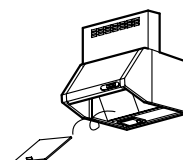
- ランプを交換するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤のブレーカを切ってから行なってください。
抜くか切らないで作業をすると感電することがあります。



注 意



- 羽根や部品の取付は確実に行ってください。
部品の落下により、けがをするおそれがあります。



禁止

- 指定以外のランプを使用しないでください。
ランプ部分が高温となりやけどをするおそれがあります。

1. 安全上のご注意（2）

必ずお守りください

⚠ 注 意



接触禁止

- 運転中は危険ですから、羽根の中に指や物を入れないでください。
けがをするおそれがあります。



禁止

- 本体に異常な振動が発生した場合、使用しないでください。
本体、部品の落下によりけがをするおそれがあります。



禁止

- フードの天面部には、ものを載せないでください。
フード部の落下及びものの落下によりけがをするおそれがあります。



- 整流板の取付け、取りはずしは確実に行ってください。
落下により、けがをするおそれがあります。

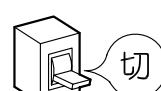
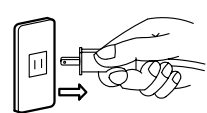
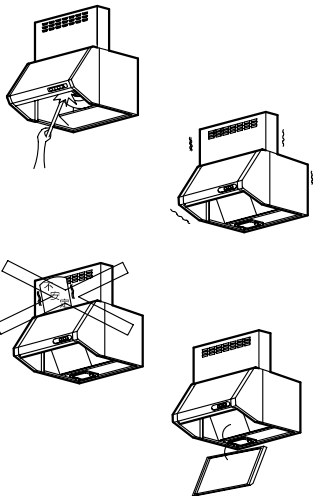


- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜いてください。
感電やショートして発火することがあります。



電源プラグを抜く

- 長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤のブレーカを切ってください。
絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

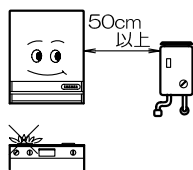


- 清掃時には、ゴム手袋などをお使いください。
板金の端などで、けがをするおそれがあります。



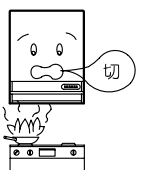
お 願 い

- 高温になる使いかたはしないでください。
・ 加熱器具の空だきはしない。
・ 湯沸器の取付は50cm以上離す。



モータ焼損、排ガスによる塗装面のサビ発生の原因となります。

- 誤ってフライパンなどの油に火がついたときは、火を消すと同時にレンジフードファンの運転を停止してください。
運転していると火の勢いが強くなります。

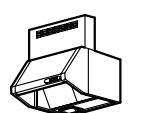


- 台所の全体換気の必要なところは、他の換気扇との併用をおすすめします。

- レンジフードにもたれかかったり、ぶら下がったりしないでください。
レンジフードの破損や変形の原因となります。

- 空気の取入れ口が必要です。
効率の良い換気を行うために空気の取入れ口を設けてください。

空気の取入れが不十分ですと換気性能が低下します。



- 調理機器を使用するときは、必ずレンジフードファンを運転してください。
運転しないとフード内の温度が上がり、製品の損傷や高熱による故障の原因となります。

- 吸込み部分に市販の繊維フィルターなどを取付けしないでください。
レンジフードファンの風量低下につながるほか、火災予防条例上、使用が制限される場合があります。

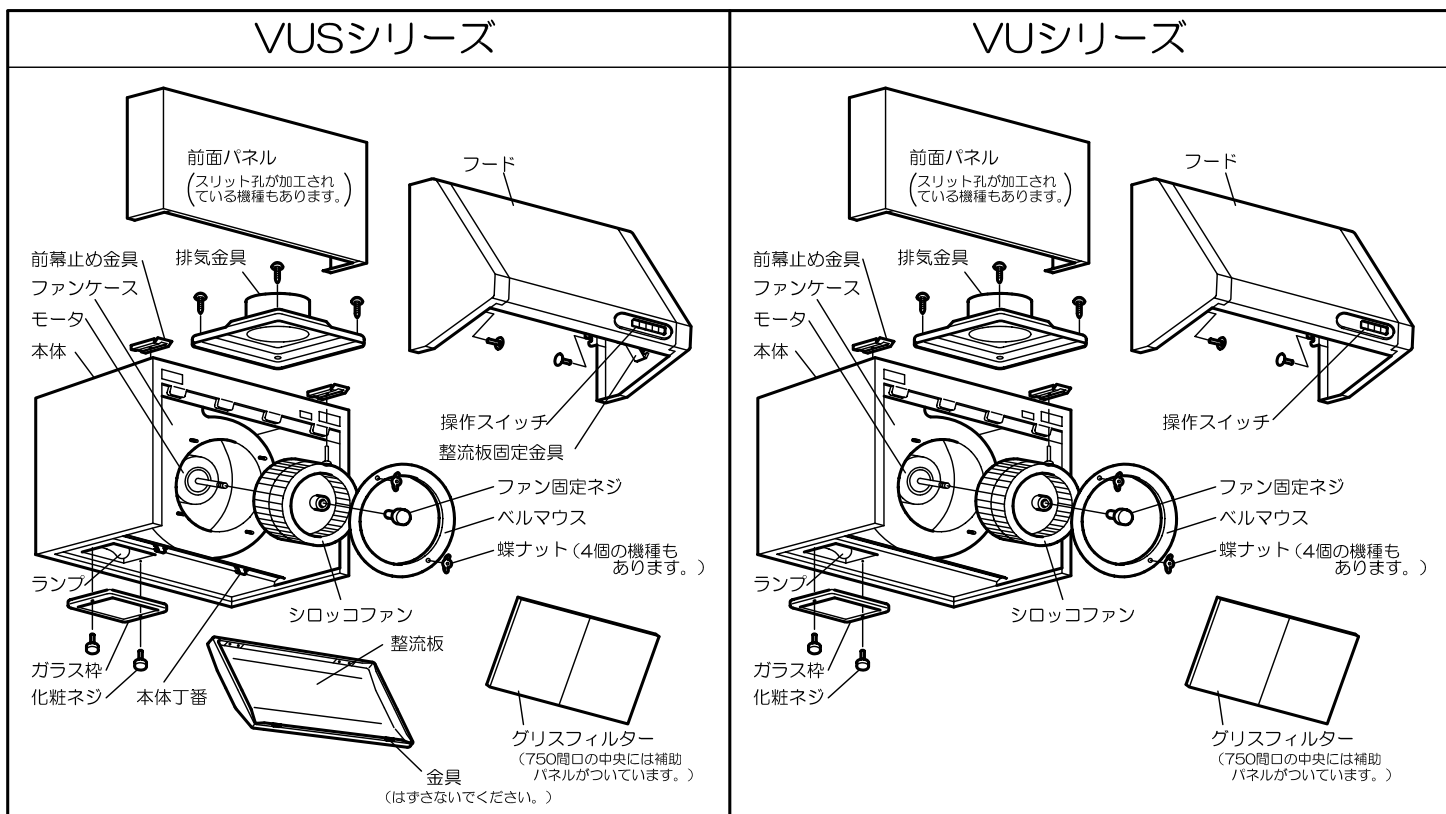
- IH ヒータなど表面がガラスの加熱器具をご使用の場合、お手入れの際はガラス面を保護してください。
物が落ちて、ガラスが割れるおそれがあります。

- キッチン周辺の気温が低いときに使用された場合にはレンジフードファンの表面が結露することがあります。
結露した場合は、ふき取って使用してください。

- レンジフードファンご使用時、気流（エアコンなどの風）が直接あたらないようにしてください。
気流（エアコンなどの風）の影響を受けると吸込み低下につながる場合があります。

2. 各部の名称と仕様

■型式はフード内側に貼付けてある本体表示で確認してください。図は排気金具が風圧シャッターの例です。



■VUS/VUS-AD/VUS-BD/VUS-T/VUS-BDT

定格	風量	消費電力 (W)	風量 (m³/h)	騒音 (dB)
100V 50/60Hz	強	87/97	600/565	43/42
	中	58/57	325/300	31/30
	弱	45/42	220/210	27/27

■VUS-AJ/VUS-J/VUS-JT

定格	風量	消費電力 (W)	風量 (m³/h)	騒音 (dB)
100V 50/60Hz	強	87/97	600/565	43/42
	弱	58/57	325/300	31/30
	常時	10/13	130/155	24/25

■VUS-H

定格	風量	消費電力 (W)	風量 (m³/h)	騒音 (dB)
100V 50/60Hz	強	97/107	630/590	44/43
	中	51/53	390/360	32/31
	弱	25/26	245/230	27/27

■VU/VU-AU

定格	風量	消費電力 (W)	風量 (m³/h)	騒音 (dB)
100V 50/60Hz	強	87/97	600/565	44/42
	中	58/57	325/300	32/30
	弱	58/57	325/300	32/30

■VU-H

定格	風量	消費電力 (W)	風量 (m³/h)	騒音 (dB)
100V 50/60Hz	強	97/107	630/590	45/43
	中	51/53	390/360	33/31
	弱	51/53	390/360	33/31

■質量 (kg) (※前面パネル重量を除く)

型式 \ 間口	600	750	900
VUSシリーズ	16	18	20
VUシリーズ	13	14.5	16

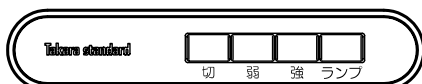
※消費電力、風量、騒音の測定はJIS C9603によります。値は静圧OPaのときを示します。設置環境により、実使用の数値とは異なります。
レンジフードの使用している部品は、性能向上などのため予告なしに一部変更することがあります。

3. 使用方法

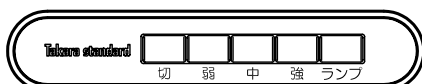
操作スイッチ

スイッチボタンを押してレンジフードの運転を選択してください。

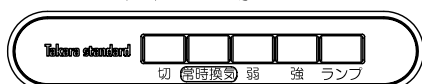
■VUシリーズの場合



■VUSシリーズの場合
(VUS-AJ/J/JTを除く)



■VUS-AJ/J/JTの場合



ご 注 意

- ◎操作スイッチは一つずつ操作し、複数のスイッチを同時に押さないでください。
- ◎操作スイッチは軽く押すだけで作動します。強く押し過ぎないように注意してください。
- ◎レンジフードを常時換気設備として使用する場合、調理以外でも、常時換気スイッチを押して連続運転してください。(VUS-AJ/J/JTのみ)

切スイッチ レンジフードの運転を停止するときに押します。

中・弱スイッチ 油煙の少ないときや調理後の換気をするときに押します。

強スイッチ 油煙の多いときや、早く換気するときに押します。

ランプスイッチ 照明を点けるときに押します。
スイッチを押すたびに点灯/消灯を繰り返します。

・VUS-AJ/J/JTのみ

常時換気スイッチ 調理時以外に、居室の換気をしたいときに押します。

4. お手入れのしかた（１）

■いつまでも快適にご使用いただくためには、日頃のお手入れが大切です。

 警告	 本体の切スイッチを押し、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、レンジフード用ブレーカの分電盤のブレーカを切ってください。感電やけがをすることがあります。  レンジフード用ブレーカ 分電盤 切
	 モータ、スイッチなどの電気部品には水・洗剤などをかけないでください。ショート、感電のおそれがあります。また、故障の原因になります。 
 注意	 掃除の時は、必ずゴム手袋などを着用してください。金属の端面や角でけがをすることがあります。 

ご 注 意

- ◎塗装の変質、変色、はがれなどの防止のため、みがき粉、ベンジン、シンナー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、金属タワシは使用しないでください。お手入れには中性洗剤をお使いください。
- ◎部品取りはずしの際は落下させないように注意してください。



お 願 い

- ◎レンジフード用コンセントは前面パネル内側の後壁に設置されています。電源プラグを抜くときは前面パネルをはずす必要があります。前面パネルのはずしかたはP5をご覧ください。
- ◎グリスフィルターに油、ほこりなどが付着しますと風量低下や異常音発生の原因になります。約1ヶ月に1度を目安として掃除してください。

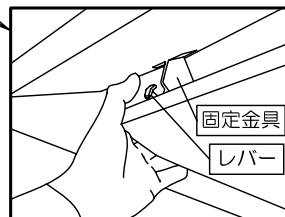
整流板の開けかた、閉めかた、はずしかた

ご 注 意

- ◎調理後は整流板が熱くなっている場合がありますので、注意してください。
- ◎整流板は重量があります。整流板の取付け・取りはずしの際、落下させないように注意してください。
- ◎整流板を開けるときは、途中で手を放さないでください。壁面にあたり壁面や整流板を傷めることがあります。
- ◎整流板に取付いている金具などを掃除する際は、ゴム手袋などを必ず着用してください。

整流板の開けかた

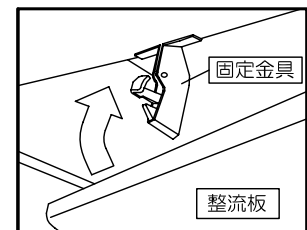
1. 図のように両手で整流板をしっかり支えます。
2. 指で固定金具のレバーを下げます。
●整流板の金具が固定金具からはずれます。
3. 整流板を両手で支えたまま、後側へゆっくり下げます。



整流板の金具は取りはずさないでください。整流板の金具を掃除する際は金具の端面に注意してください。

整流板の閉めかた

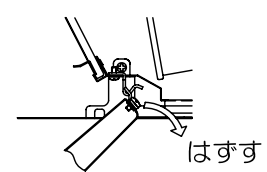
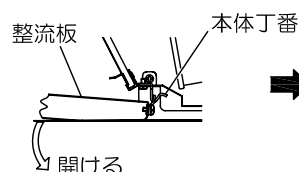
- 固定金具に向かって整流板をゆっくり押し上げます。



- ◆整流板を閉めた後、確実に固定金具に掛かっているか、整流板の中央を片手で持ち、軽く下へ引張り、はずれないことを確認してください。

整流板のはずしかた

- 右図のように整流板を本体丁番からはずしてください。
(注) 本体丁番のネジは、はずさないでください。



整流板の汚れは

- 整流板の掃除は、中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないように十分にふき取ってください。

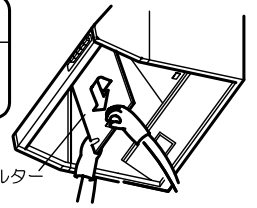
4. お手入れのしかた（2）

グリスフィルターをはずすには

- グリスフィルターはつまみを持って押し上げるようにして、下の溝からはずしてください。

ご 注 意

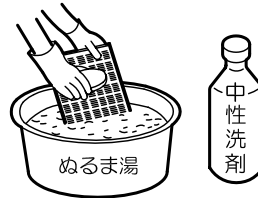
◎取りはずす際は、グリスフィルターに手をそえて、落とさないように注意してください。



グリスフィルター

グリスフィルターの汚れは

- グリスフィルターは中性洗剤を溶かしたぬるま湯の中に浸しておいてから、金属以外のタワシで汚れを落としてください。（中性洗剤以外では変色する場合があります。）

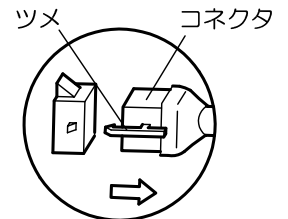
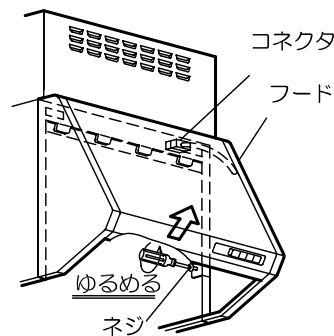


ご 注 意

◎グリスフィルターは変形しやすいので、取扱いには十分注意してください。

フードをはずすには

1. フード内上部のコネクタを抜いてください。
2. フードと本体を止めているネジを少しゆるめ、フードを少し持ち上げるようにして、はずしてください。



（コネクタのツメを押さえながら抜いてください。）

本体、フードの汚れは

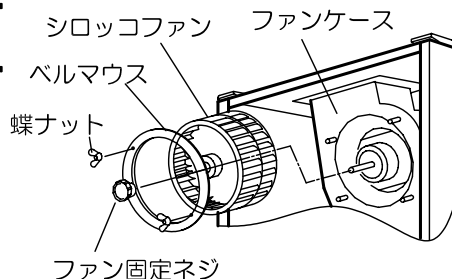
ご 注 意

◎モータ、スイッチなどの電装部品には絶対に水をかけないでください。

- 本体、フードの掃除は、中性洗剤を溶かした布で汚れをふき取り、洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取ってください。（中性洗剤以外では変質、変色、はがれが発生する場合があります。）

シロッコファンをはずすには

1. ベルマウスの蝶ナットをはずしてください。
2. ファン固定ネジを「Unlock」の方向へ回してください。
3. シロッコファンを手前に引き抜いてください。



シロッコファンの汚れは

1. 中性洗剤を溶かしたぬるま湯の中でタワシなどで汚れを洗い流してください。（中性洗剤以外では変色・変形する場合があります。）
2. 水分がなくなるまでふき取り、乾燥させてください。

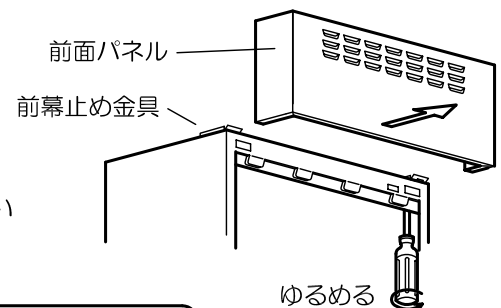


【シロッコファン取付時の注意点】

モータ軸Dカット部
ファンボス シロッコファン
止めネジ（はずさないでください。）
モータ軸Dカット部にファンボスの「止めネジ」または「平らな部分」がくるように、はめてください。

前面パネルをはずすには

1. 本体内側より前幕止め金具を止めているネジを少しゆるめてください。
2. 前面パネルを手前に引いてください。



前面パネルの汚れは

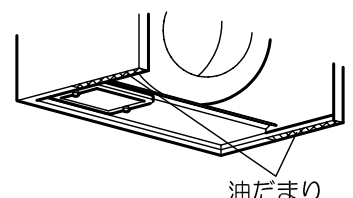
- 前面パネルの汚れは、中性洗剤を溶かした布で汚れをふき取り、洗剤が残らないよう十分にふき取ってください。（中性洗剤以外では変質、変色、はがれが発生する場合があります。）

油だまりの清掃

ご 注 意

◎清掃を怠りますと溜まった油が滴下してくることがあります。

- 右図の部分に油が溜まる構造になっています。
- 油だまりの清掃は中性洗剤を溶かした布で汚れをふき取ってください。（中性洗剤以外では変質、変色、はがれが発生する場合があります。）



4. お手入れのしかた（3）



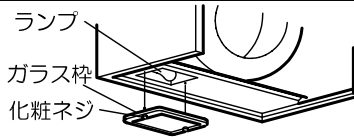
警告



ランプを交換するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤のブレーカを切ってください。感電やけがをすることがあります。

ランプの取替えは

1. 2本の化粧ネジをはずしてください。
2. ガラス枠をはずしてください。
3. ランプをはずしてください。



指定交換部品	
ミニ電球	40Wミニ電球 (口金：E17)
LED電球	LDA7L形 (口金：E17)

※標準ではミニ電球が設置されています。

お手入れ後の組立と点検

- お手入れが終わりましたら、取りはずしと逆の順序で組立してください。
- 各部品は十分に乾燥させてから、本体に取付けてください。
- 操作スイッチの各スイッチを押して、運転動作を確認してください。

5. 故障かな？と思ったら

修理サービスをお申し付けになる前に、次の点をお調べください。

症 状	原 因
操作スイッチを押してもファンが回転しない。	停電ではありませんか。 ご家庭のブレーカやヒューズが切れていませんか。
運転中に異常音や振動がする。	本体に前面パネル、フード、グリスフィルター、ファン、ガラス枠などが確実に取付けられていますか。
ランプスイッチを押しても点灯しない。	電球が切れていませんか。
換気風量が少ない。	グリスフィルターが汚れていませんか。空気の入入れ口は十分に確保できていますか。

以上のことをお調べになり、それでも具合の悪いときは操作スイッチを切り、電源プラグを抜くか分電盤のブレーカを切り、販売店にご連絡ください。

6. アフターサービス

◆長期使用製品安全表示に関する本体表示について

【本体への表示内容】

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右記の内容の表示を本体に行っています。



【製造年】 本体に西暦4桁で表示してあります。
【設計上の標準使用期間】 10年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

【設計上の標準使用期間とは】

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものではありません。

●「経年劣化」とは

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

■標準使用条件 日本工業規格 JIS C9921-2 による

環境条件	電 圧	100V	機器の定格電圧による
	周波数	50Hzまたは60Hz	
	温 度	20℃	JIS C9603参照
	湿 度	65%	
	設置条件	標準設置	機器の設置説明書による
負荷条件		定格負荷（換気量）	機器の取扱説明書による
想定時間	1年間の 使用時間	換気時間 8760時間/年（常時換気） 2410時間/年（局所換気）	

愛情点検

長年ご使用のレンジフードファンの点検を！



このような
症状はあり
ませんか

- ・スイッチを入れても回転音が不規則に聞こえたり、回転しない。
- ・運転中に異常音がしたり振動がある。
- ・異臭がする。
- ・その他、異常を感じる。



このような症状のときは、事故防止のためにすぐに電源を切ってから、お買い上げの販売店または工事中に点検・修理をご依頼ください。

タカラレンジフードファンのアフターサービスは、お買い求めの販売店へお申し付けください。



0120-557-910

受付時間 9:00～18:00

（土日祝、夏期・年末年始休業日を除く）

アフターサービスをお申し付けの際は、次のことをお知らせください。

①製品名(レンジフードファン) ②型式 ③故障または異常の内容(できるだけ詳しく) ④ご住所、ご氏名、電話番号、道順

補修用部品の 最低保有期間

換気扇の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。
この期間は経済産業省の指導によるものです。
（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

7. 保証書

レンジフード

保証書

品番			
保証期間	1年間	★お買い上げ日	年 月 日
★お客様	ご住所	〒	
	お名前	様 TEL ()	
★販売店	住所		
	店名	TEL ()	



または
サイン

★印欄に記入のない場合には有効とはなりませんから、必ず記入の有無をご確認ください。もし、記入がない場合には直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。
本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

記

本書は、本書記載内容で、無料修理させていただくことをお約束するものです。

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書による正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、お買い上げの販売店またはP6に記載のフリーダイヤルへ出張修理をご依頼のうえ、修理に際して、本書をご提示ください。
- ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店またはP6に記載のフリーダイヤルへご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (1) 一般家庭以外（例えば車両、船舶への搭載、業務用など）に使用された場合の故障及び損傷。
 - (2) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - (3) 鉄粉などによるもらいサビ、及び水滴の放置などによる汚れの付着、損傷。
 - (4) メーカーが定める設置説明書に基づかない設置、専門業者以外による移動、分解などに起因する不具合。
 - (5) お取付後の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - (6) 建築躯体の変形など製品以外の不具合に起因する不具合、塗装の色あせなどの経年変化または使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の現象。
 - (7) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性空気環境に起因する不具合。
 - (8) ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合。
 - (9) 火災、爆発事故、落雷、地震、洪水、津波など天地異変または戦争、暴動など破壊行為による不具合。
 - (10) 消耗部品の消耗に起因する不具合。
 - (11) 異常電圧、指定外の使用電圧（電圧、周波数）などによる故障及び損傷。
 - (12) 本書の提示がない場合。
 - (13) 本書にお客様名、販売店名、お買い上げ日の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (14) 離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行なう場合の出張に要する実費。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only Japan.）
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

お客様へ

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間などについて、詳しくは取扱説明書をご覧ください。なお、ご不明の場合は、お買い上げの販売店またはP6に記載のフリーダイヤルへお問い合わせください。

修理記録	年 月 日	修 理 内 容	担 当 者

タカラ スタンダード株式会社

本社 〒536-8536 大阪市城東区鳴野東1丁目2番1号
TEL (06) 6962-1531